

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

*** 写真乾板整理－(中桐：2011年4月8日-3分)－**

アーカイブ室新聞 454号から取り込み始めた堂平観測所の乾板整理の続編である。今まで454号、455号、457号、458号、459号、460、461号、462号と続けている続編である。今回のシリーズは図書室から渡された段ボール箱に入っていた手札の写真乾板10箱を次々とデジタルデータとして読み込む作業をやっている。この号で10箱目の「PL」と書かれた箱(写真1)に10枚の乾板が入っていた。このシリーズはこれで終了である。

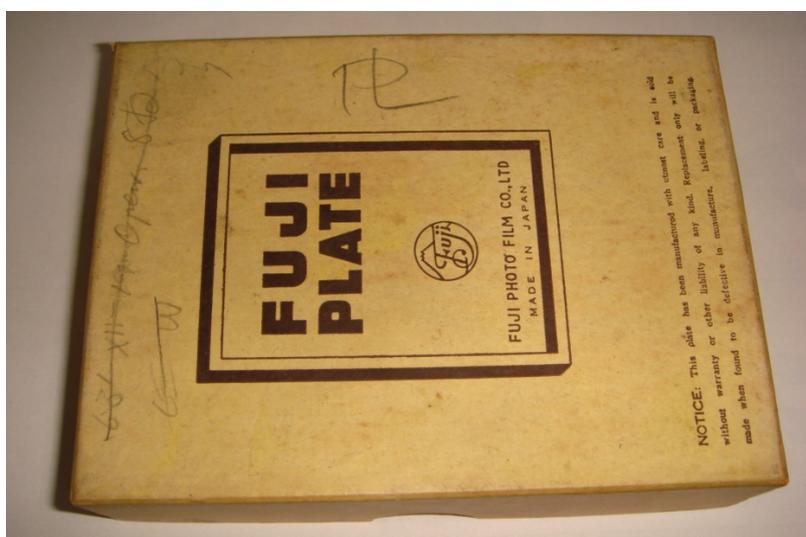


写真1 PLと書かれた乾板の入った箱

この箱に入っていた乾板は以下の表-1のとおりである。

PL	No.	Date	B-Time	E-Time	Exposure	Telescope	Temperatu	Emulsion	Focus	Object	Filter	Obs
	144	19630531	205600	205800	2min		19.0-17.1	FLO II		PL		富田
	261	19631117	251210	262610	10min	E		7 FLO II		1543		富田
	261	19631117	254000	265410	14min10sec	E		4.5 FLO II		1543		富田
	267	19631117	285600	290200	6min		6.5-4.0	FLO II		彗星Humason		富田
	291	19631126	274815	280015	12min		6.8/3.6	FLO II		PL		富田
	399	19631222	273500	274500	10min			FLO II		PL		富田
	518	19640308	232900	233900	10min		-1.2/-3.0	FLO II	+2.0	彗星Humason		富田
	532	19640309	215500	220500	10min		-1.5/-3.0	FLO II		PL		富田
	625	19640512	211800	212600	8min	W	13.2/10.2	FLO II		PL		富田
	633	19640515	212100	212900	8min	W	-1.5/-3.0	FLO II		PL		富田
	893	19650224	240000	241004	10min4sec		-5.0	FLO II	22.2	PL		富田

表1

No. 261が2行あるのは露出が2回行われていることを示している。これらの乾板をスキャナーで取り込んだ一覧が写真2である。写真3の堂平観測所の天体写真原簿によると、これ等の乾板に写っているのは表のObjectの欄のようにになっている。PLというのは何か筆者には不明である。



写真2 取り込んだ画像一覧

先号(第462号)から、堂平観測所の天体写真原簿というものを知ったので、表1のように、No. (乾板番号)、Date (撮影年月日)、B-Time (露出開始時刻)、E-Time (露出終了時刻)、Exposure (露出時間)、Telescope (望遠鏡位置)、Temperature (温度)、Emulsion (乾板種別)、Focus (焦点値)、Object (天体名)、Filter (フィルター)、Observer (観測者)とデータを詳細に入れた表の作成が可能になった。

写真3はNo. 261でLP135と書かれた乾板であり、写真4はNo. 518の彗星Humasonの写真である。取り立てて面白い天体はないようである。

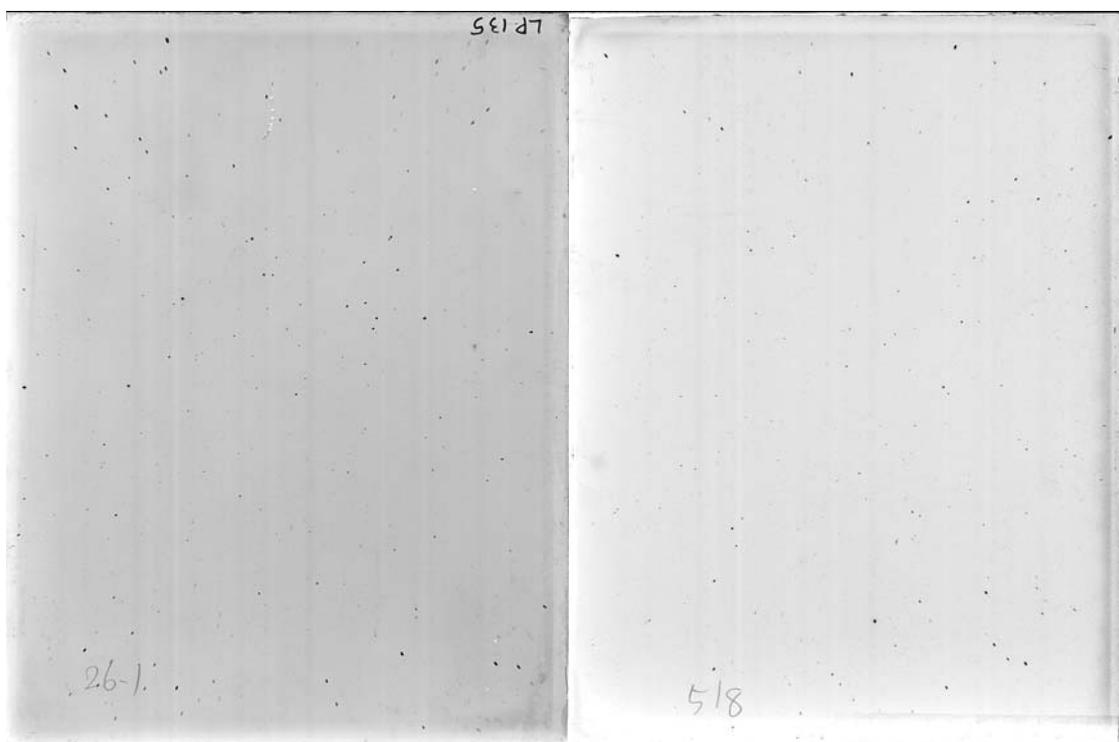


写真3 No. 261

写真4 No. 518 彗星 Humason

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp